



<ご参考>過去5期の推移と中期経営計画グラフ(単位：百万円)



※19年1月期より連結財務諸表を作成しており、それ以前との比較はあくまでご参考となります。

### 3 具体的な取組み

本計画の実行に際しては、以下の方策をもってあたることとしております。

#### ・社内連携の強化

開発・製造部門は販売部門、品質管理部門との連携をより深め、業務改革を推進し、コストパフォーマンスの改善を図るとともに、半導体の進化につれて化学材料に対しても厳しさを増し続ける顧客の要望に的確に応えてまいります。また、台湾子会社・韓国関連会社を中心とした、関係会社間の連携を強化し、一層のアジア市場での業績拡大を図ってまいります。

#### ・財務体質の強靱化

本計画におきましては売上高営業利益率で 25%程度の水準を維持しながら成長を持続することを主眼においてまいります。その中で計画最終年度の目標売上高では 100 億円を突破し 108.4 億円としながら、営業利益は 28.8 億円を目標といたします。

#### ・生産・販売体制の強化

台湾子会社における新工場建設と立ち上げをグループのグローバル戦略の中核と位置付け、早期の事業化を図ってまいります。積極的な投資を継続し、新製品の投入に向けた開発・生産体制の強化、既存製品の大量化と効率化によるスループット向上を図る一方で、安全、品質管理体制の更なる強化も継続して図ってまいります。

なお、中期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページ等において、3月下旬頃を目安に公表する 2019 年 1 月期決算説明資料に記載する予定であります。

以上

本資料記載の将来の業績見通しに関する事項については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。